

# I. 2020年3月期(FY2019)総括とFY2020見通し

単位:億円  
% = 前年同期比

## FY2019実績

**法人ストック<sup>(\*)</sup> 積み上げ好調・SI需要旺盛**  
各分野粗利拡大で構造的増益・過去最高営業利益更新

売上高	2,044.7億円	+6.3%
営業利益	82.3億円	+36.6%
当期純利益 <sup>(*)2)</sup>	40.1億円	+13.8%
ROE	5.2%	
配当金	27.00円	
配当性向	30.4%	

NWサービス 売上 1,220億円・+2.8% 粗利 199億円・+14.6%

法人NW  
サービス<sup>(\*)3)</sup>

- ◆ 多様なNWサービスのクロスセル進展
  - 法人NWサービス<sup>(\*)3)</sup> 売上 524.0億円(+9.5%)
    - ・うちセキュリティ 163.5億円(+15.9%)

モバイル・  
IoT

- ◆ フルMVNO機能で差別化発揮・IoT需要積み上げ
  - モバイル総回線数 302.9万(+10.4%)
  - モバイル総売上 460.9億円(+9.8%)
    - ・うちフルMVNO 14.1億円(+113.6%)
    - ・うち法人モバイル<sup>(\*)4)</sup> 60.2億円(+23.8%)

SI

売上 784億円・+12.5% 粗利 108億円・+10.5%

SI

- ◆ ネットワークインテグレーション・リモートアクセス・セキュリティ関連SI等全業種より強い引き合い
  - 受注 831.4億円(+11.9%)

クラウド

- ◆ 高付加価値クラウドソリューション・マルチクラウド戦略で差別化
  - クラウド売上 235.8億円(+17.1%)

## FY2020見通し

**法人ストック<sup>(\*)</sup> 継続増収で増収増益計画**  
不透明な中 ATM運営事業・SI一時売上他でコロナ感染症影響想定

売上高	2,100億円	+2.7%
営業利益	87億円	+5.8%
当期純利益 <sup>(*)2)</sup>	50億円	+24.8%
ROE	6.2%	
配当金	34.00円 (7.0円増配)	
配当性向	30.7%	

法人NW  
サービス<sup>(\*)3)</sup>

- ◆ 高信頼・付加価値のワンストップサービス推進継続
  - インターネット増速、安心・快適なVPN接続、クラウド型AD連携サービス等社会インフラとなったインターネット関連サービスへの需要継続
- ◆ セキュリティソリューションの拡充・拡販
- ◆ リモートアクセス・インターネットトラフィック需要増へ対応

モバイル・  
IoT

- ◆ リモート・IoT案件推進等で法人モバイル加速
  - フルMVNO売上 約23億円へ伸長
  - リモートアクセス案件へのモバイルソリューション
  - 産業IoT等へ領域深化

SI・  
クラウド

- ◆ 不透明なSI環境下で外注等コストコントロールで増収増益
- ◆ マルチクラウド戦略継続遂行

### 新型コロナウイルス感染症拡大による影響の可能性

- ・ 店舗休業での銀行ATM運営事業売上
- ・ 企業投資意欲減退によるSI構築(一時売上)
- ・ 大型店舗休業での個人モバイル獲得 等

上りはATM影響等で  
減益想定

(\*)1) 法人ストック: 法人インターネット接続(MVNE除く)、アウトソーシング、SI運用保守の合計額。個別変動要因のあったWAN売上は含まず (\*2) 親会社の所有者に帰属する利益 (\*3) 法人NW(ネットワーク)サービス売上: 法人インターネット接続(MVNE除く)、アウトソーシングの合計額。個別変動要因のあったWAN売上は含まず (\*4) 法人モバイル売上: IJモバイルからMVNE分を除外し算出

# V-1. 2021年3月期(FY2020)連結業績見通し

単位: 億円  
YoY = 前年同期比

	売上高比	売上高比	前期比	
	FY2020見通し 2020年4月～2021年3月	FY2019実績 2019年4月～2020年3月		
売上収益	2,100	2,044.7	+2.7%	+55.3
売上原価	83.9% 1,761	84.1% 1,718.8	+2.5%	+42.2
売上総利益	16.1% 339	15.9% 325.9	+4.0%	+13.1
販売管理費等 <sup>(*)</sup>	12.0% 252	11.9% 243.7	+3.4%	+8.3
営業利益	4.1% 87	4.0% 82.3	+5.8%	+4.7
持分法投資損益	△6	△8.1	-	-
税引前利益	3.8% 80	3.5% 71.6	+11.7%	+8.4
当期利益 <sup>(**)</sup>	2.4% 50	2.0% 40.1	+24.8%	+9.9

(※)FY2020上期はATM影響等で減益の想定

(\*)販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載

(\*\*)当期利益は、親会社所有者に帰属する当期利益及び四半期を表示

売上の前提	
◆ NWサービス(ストック): +約30億円YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人NWサービス:           <ul style="list-style-type: none"> <li>法人インターネット・セキュリティ等のアウトソーシングはリモート需要等で継続伸長</li> <li>法人モバイルはIoT案件加速も以下要因有り:               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大口MVNE顧客減(△約14億円YoY)</li> </ul> </li> <li>WANは3Q19収束の大口特定顧客減要因で△約17億円YoY</li> </ul> </li> <li>個人: YoYで微増・FY19下期ペースを継続</li> </ul>
◆ SI: +約40億円YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築(一時): 企業投資意欲減退で増収規模些少の想定</li> <li>運用保守(ストック): 運用は継続増収</li> <li>クラウド(ストック): クラウド売上目標: 245億円、旧サービス設備閉鎖・設備移行要因有り</li> </ul>
◆ ATM: △約13億円YoY	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗休業・一部店舗ATM減で減収想定</li> </ul>
持分法損益の前提	
◆ DeCurret持分法損失 8億円規模	
◆ JOCDN持分法損益 黒字化	
◆ その他損益 FY19同規模	
配当	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1株当たり34円/年(7.0円増配)           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 上期 17円、下期 17円</li> <li>➢ 配当性向: 30.7%</li> </ul> </li> </ul>



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

---

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

## **事業等のリスク**

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。